

**様式 4****令和 7 年度第 4 回****富士見市産業振興審議会****議事録**

<b>日 時</b>	令和 7 年 10 月 28 日 (火)					開会 午後 1 時 30 分					
						閉会 午後 3 時 00 分					
<b>場 所</b>	富士見市立中央図書館 2 階 視聴覚ホール										
<b>出席者</b>	委 員	猪瀬会長	西本副会長	門脇委員	大曾根委員	平岡委員					
		○	○	○	○	○					
		秋元委員	浅見委員	寺沢委員	飯塚委員	高野委員					
		欠	○	○	○	欠					
		岡固委員	太田委員	柳委員	小栗委員	世羅委員					
		○	欠	○	○	○					
	事務局	経済環境部 本多部長 産業経済課 齊藤課長、長根副課長、鶴田主査、室本主任									
	委託業者	株式会社ふぎん地域経済研究所 1 名									
<b>公開・非公開</b>	公開 (傍聴者 1 名)										
<b>議題</b>	(1) (仮称) 富士見市都市産業活性化ビジョン (案) について (2) その他										

**議事内容**

	1 開会 (齊藤課長)
	2 会長あいさつ (猪瀬会長)
	3 議題 (1) (仮称) 富士見市都市産業活性化ビジョン (案) について

**【質疑等】**

会長：課題 5：人材確保と多様な働き方の推進（37 ページ）について、子育てが一段落した方など「多様な人々に就労機会を提供する」の記載があった方がよい。

会長：基本的な考え方と将来像（40 ページ）について、従前のビジョンは商業の活性化を目指していたが、今回のビジョンでは商業とともに工業を加味した都市型の産業振興を目指すということを記載する必要がある。

会長：取組の方向性 1-1：主な取組内容の創業を身近に感じる機会の創出（48 ページ）について、「創業支援施策の広報活動の充実」を取組内容として追加することで、より積極的な姿勢が表れるため記載があった方がよい。

会長：ビジョンの推進に向けて（2）事業者等の役割、（3）産業経済団体の役割（62 ページ）について、行政として事業者・各種団体に取り組んでほしい姿勢の視点による記載とした方がよい。  
：ビジョンは本市の都市としての自立性を高めるため策定するものであり、ビジョンを推進するには各主体に役割を担ってもらう記載としてほしい。

委員：本市は昼夜間人口をみても完全なベッドタウンである。ベッドタウンをベースとした産業支援を記載すべきである。子育てなど安心してできるような創業を支援していくよ。究極のベッドタウンを目指すような本市らしい産業振興の方向性を示したい。

会長：都市産業活性化との名称変更は、商業は小売業・卸売業についてのみを指し、生活関連サービス業はサービス業であって商業ではないことが理由である。様々な業種の方がいるというのがベッドタウンである本市の特徴であるため、ビジョンの策定趣旨（2 ページ）において、地域生活を支えるサービス業等も含めている旨がわかるように記載の工夫をお願いする。

委員：人口を維持したい、職住産業を豊かにしたいなど、目的がいくつある中で、本市にとって意味のある産業とは何かを問い合わせ続けていかなければならない。

委員：第 5 章：ビジョンの推進に向けて（62 ページ）において、市内部における推進体制の記載がない。行政内部の連携体制とした組織の横串を通す役割など明確にすべきである。上位計画の第 2 期基本計画に本ビジョンが含まれていると思うが、推進体制について記載が必要である。

担当：第 2 期基本計画の行政評価において、関係各課との連携を図り進捗管理を行うこととしている。指摘の推進体制については、記載について検討する。

	<p>会長：部門計画であるという説明も含めて、進捗管理、推進体制の記載が記載されているが、市民から見て理解が難しいように見受けられる。</p> <p>委員：このような計画を策定しても市民の方に伝わっていないことが多いため、積極的に情報発信していく必要がある。</p> <p>会長：広報活動として、1年目はこういうことに取り組みました、2年目はこういうことを取り組みましたなど、取組についての発表の場があってもよい。ビジョン策定後、商店会・商工会・市民の方などを集めて発表をしてはどうか。</p> <p>委員：創業支援について、新しい方が増えない要因はよくわからないが市内創業者と話していると情報交換の機会がないという声を聞く。創業を考えている方が一步踏み出せるような企画を地域の事業者で行えるとよい。</p> <p>会長：ビジョン策定後、地域でどういう取り組みをしていくかが重要なため、できれば推進体制のところに記載されたい。</p> <p>委員：SDGsの推進に向けた取組（4ページ）について、SDGsのゴールを絞った理由は何か。</p> <p>担当：上位計画である第2期基本計画において、主に産業関連の分野に位置づけられているものを記載している。</p> <p>委員：国内外における経済・社会情勢（6ページ）について、ICTの急速な発展との記載があるが、文章構成から後ろ向きな意味合いを感じるため、記載の方法を検討した方がよい。</p> <p>委員：本市における地域経済情勢（7ページ）の掲載している地図について、地図が示している意味の説明を記載した方がよい。</p> <p>委員：取組の方向性2－3（51ページ）について、SDGsフジミライテラスの説明が不足している。富士見市は全国でも数少ない未来都市の認定を受けていることがわかるように、しっかり記載した方がよい。</p> <p>委員：計画の概要版も作成する予定か。</p> <p>担当：作成する予定である。</p> <p>委員：国勢調査の調査員として市内を回ったが空き家が多く驚いた。施設に入って空き家になっているケースが多いとのこと。地域の活性化に結びつけるようなビジョンになるとよい。</p>
--	--

委員：策定した初年度くらいは、こういう計画ができたということを発表する機会があるとよい。

委員：本市はベッドタウンなので生活密着型のビジネスがメインになる。住むには立地条件のよい場所であるため、多くの若い人に住んでもらいたい。本市の良いところを前面に出した計画にしてもらうとよい。

委員：市の創業支援セミナーでは、30～40代、勤続20年の会社員の方がいるが、今後、会社員としてとどまるつもりはなく、地域課題を解決したいと考え、副業を起こしている志の高い方もいた。完成したビジョンを見た市民の方々の考えを聞き、ディスカッションする場を設けてもよいのではないか。

委員：産業団地に大きな企業が進出しても、雇用の面ではメリットがあるが、市内製造業者には直接的なメリットがないと感じている。進出企業の業種にもよるが、大企業との取引という面ではあまり期待できない。進出企業の関連企業が本市に移転することや、進出企業が商工会の会員になることはよいと考える。

会長：産業団地ができても、既存の市内事業者にどのようなメリットがあるのかわからないという実情がある。5年後の課題は、そのあたりを分析しながら計画を策定する必要があるかもしれない。

担当：本日のご意見を反映できる個所は反映し、ビジョン冊子の作成を進め、令和8年1月にパブリックコメントを実施する予定である。

## （2）その他

- ・第5回（次回）審議会の開催日程  
令和8年2月10日（火）開始時間は後日通知予定  
体育館3階多目的ホール

4 閉　　会　　（西本副会長）